

2022年度 自己点検・自己評価

令和5年4月5日
日本文化教育学院

本校は日本語教育機関の告示基準に基づき、教育の水準の向上と適切な業務運営を継続させるため、自己点検及び自己評価項目を設定し、定期的に点検・評価を行う。

各項目の評価は5段階評価（A～E）とする。

- A：達成している
- B：ほぼ達成している
- C：どちらともいえない
- D：取り組みを検討中
- E：改善が必要

自己点検及び自己評価は当校のホームページにて公表する。

（1）教育理念・目的評価

点検・評価項目	評価
1-1 教育理念、教育目標、育成する人物像は明確になっているか	A
1-2 社会のニーズに合致しているか	A
1-3 教職員、生徒に周知されているか	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

理念、目標、育成する人物像は当校のホームページに掲載しており、日本語学習だけでなく、授業態度、日本のマナー等の指導にも力を入れている。

（2）機関運営

点検・評価項目	評価
2-1 運営体制が日本語教育機関の告示基準に適合しているか	A
2-2 理念や目標に沿った事業計画が策定されているか	A
2-3 組織運営上の意思決定システムは整備されているか 実際に機能しているか	A
2-4 学則・組織・人事・財務に関する諸規定が整備されているか	A
2-5 職員間の情報共有体制は適切か	B
2-6 受け入れる生徒の母語に対応できる組織となっているか	B
2-7 災害時、問題発生時の危機管理体制は整備されているか	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

職員間の情報共有については、連絡方法や会議のあり方の検討など改善に取り組んでい

る。危機管理体制については、夜間・休日も生徒と連絡が取れるような体制を整えている。また、今年度から外国人職員を雇用し、1か国については母語対応が可能となった。

(3) 教育活動

点検・評価項目	評価
3-1 教育理念に沿った教育課程編成方針が定められ、教育課程が体系的に編成されているか	A
3-2 日本語教育機関の告示基準第六は守られているか	A
3-3 教育課程改善のための取組はなされているか	B
3-4 生徒が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか	A
3-5 明確な成績評価や進級、修了の判定基準が定められ、かつ、適正な運用がなされているか	A
3-6 教員の指導力向上のための取り組みは行われているか	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

毎年授業力向上のための勉強会を実施しており、ほとんどの教員が参加している。また、教務主任を中心に新人教員への指導も行っている。基本的な教育課程の改善については、これまで改善の余地があった部分について検討を開始した。

(4) 学修成果

点検・評価項目	評価
4-1 生徒の日本語能力向上が図られているか	A
4-2 生徒の日本語能力は本校が定める到達目標・評価基準に達しているか	B
4-3 生徒の進路を適切に把握しているか	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

初級レベルから授業を行い中級レベルまで達し、ほぼ全員が希望校に進学できている。外部試験も基本的に全校生徒が受験しており、申し込みのサポートも行っている。一部に目標に達していない生徒がいる点が課題である。

(5) 生徒支援

点検・評価項目	評価
5-1 学習相談や進路支援及び在留資格に対する支援が整備されているか	A
5-2 生徒の在籍管理は十分機能しているか	A
5-3 健康管理や日本での生活指導等の支援体制が整備されているか	A
5-4 防災や緊急時における体制が整備されているか	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

担任教員による学習相談・進路支援、学生課職員による在留資格支援・生活指導を行っ

ている。生徒に悩みなどがあれば担当の教職員が生徒と面談を行い、生徒個人の状況を把握するようにしている。消防署による防災訓練、警察からの緊急時の対応方法・自転車の乗り方などについての講習会を取り入れている。

(6) 教育環境

点検・評価項目	評価
6-1 校舎は学習に適切な環境にあるか	A
6-2 日本語教育機関としての施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	A
6-3 教材は適切か	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

周囲は田園と住宅地で騒音もなく、学習環境は良好である。教材は定期的に見直し・作り直しを行っている。

(7) 入学者の募集

点検・評価項目	評価
7-1 入学者の募集は入学者受け入れ方針に基づき適切に行われているか	A
7-2 入学志願者に本校の情報は正確に伝えられているか	A
7-3 入学者選抜は適切に行われているか	B
7-4 授業料等の納入金は適切か	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

おおむね達成できている。入学者の選考方法については前年から大きく内容を変更し、より適正に選抜ができるようにした。

(8) 財務

点検・評価項目	評価
8-1 当該年度及び中長期的な財務計画は策定されているか	A
8-2 中長期的な財務基盤は安定しているか	A
8-3 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A
8-4 財務情報の公表の体制はできているか	A

<現状・具体的な取り組み／課題>

月次単位での予算管理が達成できており、またコロナ渦であっても補助金等を活用し財務基盤が大きく毀損しない体制を取ったため今年度も財務基盤は安定している。今後も税理士と連携し、適切な会計処理を継続する。

(9) 法令遵守

点検・評価項目	評価
---------	----

9-1 出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守はなされているか	A
9-2 個人情報保護のための取り組みは適切か	A
9-3 出入国在留管理庁、関係官庁への届出、報告は遅延なく行われているか	E

<現状・具体的な取り組み／課題>

今年度の初めの水際対策の緩和の際に、生徒の入国の届出が遅延したことがあった。早急に改善に努め、それ以降の届出には問題はない。

(10) 地域交流・社会貢献

点検・評価項目	評価
10-1 地域との交流は行われているか	A
10-2 生徒のボランティア活動は奨励・支援されているか	A
10-3 日本語教育機関の資源や施設を活用した社会貢献は行われているか	E

<現状・具体的な取り組み／課題>

新型コロナウイルスの影響が収まりつつあり、地域の祭りへの参加など活動を再開している。ボランティア活動については、例年同様、学校周辺の清掃作業を行っている。日本語教育機関の資源や施設を活用した社会貢献の方法は検討中である。

(11) 自己点検

点検・評価項目	評価
11-1 自己点検自己評価を実施し、学校の改善に努めているか	B
11-2 自己点検自己評価の結果を適切な方法で公表し、関係者に周知している	E

<現状・具体的な取り組み／課題>

自己点検・自己評価は実施しているが、海外のエージェントなどへの周知が不足しているため、今後改善を行いたい。